

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）					
I-3-(1)-② 教育関係施設の連携による人材育成	1	④	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラム の提供	緑政課	建設局公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通して命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供。  【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 令和4年度に比べ参加人数を増加させることができ、環境保全意識向上の機会を拡大できたため、「順調」と判断。 ・令和4年度参加人数：2,810人 ・令和5年度参加人数：3,141人  【課題】 今後は、中高生向けの環境学習プログラムの開発などにより、参加人数の増加やプログラムの高度化を図る。	
II-1-(1)-④ 居住支援の充実	2	⑩	優良賃貸住宅供給支援事業	住まい支援室	建築都市局住宅計画課	一定の基準を満たす良質な賃貸住宅（特定優良賃貸住宅、高齢者向け優良賃貸住宅）への入居者に対して家賃補助を行うことにより、入居を促進し、入居者の居住の安定確保を図る。  特優良及び高優良の入居率	80% (H26年度)	—	88 %	88 %	80%以上 (毎年度)	133,983	120,000	117,763	11,075	順調	順調	【評価理由】 優良賃貸住宅供給については、特優良及び高優良の入居率目標を達成することができたため、「順調」と判断。  【課題】 優良賃貸住宅供給については、家賃補助終了後も入居者が安定して居住できるよう、認定事業者への働きかけを行うなど、事業を円滑に実施していく必要がある。	
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	3	⑩	民間建築物耐震改修費等補助事業	建築指導課	建築都市局建築指導課	民間建築物を対象とした耐震改修費等補助実績  ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	50件 (H26年度)	—	50 件	108 件	108件 (毎年度)	20,466	107,750	43,507	9,700	順調	順調	【評価理由】 耐震事業は省エネ改修補助と、除却補助の新規事業開始の効果により、達成率67%となり「順調」と判断。  【課題】 市民の建物の耐震化に関する意識はあるものの、所有者の高齢化から、費用負担の面や築40年以上の住宅の残存年数より、改修に踏み切れないなどの現状がある。改修に限定せずに安全性の確保へ向けた動機付けが必要である。	

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題						
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）					
Ⅲ-1- (1)-① 快適な 住環境 の形成	4	①	空き家等活用 推進事業	空き 家活 用推 進課	建 築 都 市 局 空 家 活 用 推 進 課	近年増加傾向にある空き家に対し、市民の安全・安心を確保するため、空き家等発生の未然防止から、流通・活用等の促進に至るまで、「空家等対策計画」に基づき総合的な空き家対策を推進する。	空き家に関する 相談件数	—	目標	300	件	300	件	300件 (毎年度)	1,614	1,800	1,711	15,550	順調	【評価理由】 空き家対策については、老朽空き家の除却等の促進、流通促進、予防啓発の3つの柱で取り組んでいる。 老朽空き家の除却等の促進の面では、「老朽空き家等除却促進事業」等に取り組んでおり、目標を大幅に上回ることが出来た。 流通促進の面では、「官民連携空き家再生総合戦略」等に取り組んでおり、事業内容の見直しを図りながら事業を推進した。 予防啓発の面では、「空き家等活用推進事業」に取り組んでおり、空き家の予防や管理・活用等の普及啓発を推進した。					
									実績	336	件	227	件								達成率	112.0	%	75.7	%
									達成率	112.0	%	75.7	%												
5	①	官民連携空き 家再生総合戦 略	空き 家活 用推 進課	建 築 都 市 局 空 家 活 用 推 進 課	市が取得した空き家情報をもとに、空き家所有者の売却意向を確認のうえ、民間事業者へと橋渡しを行うことで、住宅の建替えやリノベーションを推進し、利便性の高い地域における居住環境の再生に寄与する。 また、建替え等が困難な空き家についても、空き家問題の予防啓発を行うとともに、空き家の利活用や除却等に向けた総合相談など、包括的な空き家解消を目指す。	建替えやリノ ベーションによ る空き家の解 消、空き家問題 の予防啓発や総 合相談を行うこ とによる空き家 の解消	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	—	12,111	12,100	9,896	21,150	順調	取得した空き家情報をもとに、所有者調査等を実施する空き家数が伸びており（R4：206件→R5：308件）、空き家解消につながっていることから、「順調」と判断。								
								実績	—	—								達成率	—	—					
								達成率	—	—															
6	①	老朽空き家等 対策推進事業	空き 家活 用推 進課	建 築 都 市 局 空 家 活 用 推 進 課	人口減少や高齢化等が進む本市においては、今後も、適正に管理されず、周辺の居住環境に悪影響を及ぼす老朽空き家等の増加が見込まれることから、平成28年に制定した「空家等の適切な管理等に関する条例」及び同年策定した「空家等対策計画」に基づき、老朽空き家等対策の強化を図る。	老朽空き家に関 する相談・通報 件数	167件 (H26年 度)	目標	500	件	500	件	500件 (毎年度)	5,726	24,561	15,900	27,200	大変 順調	効果的な普及活動により、相談・通報件数が目標を大幅に上回ることが出来たため、「大変順調」と判断。						
								実績	986	件	1,260	件								達成率	197.2	%	252.0	%	
								達成率	197.2	%	252.0	%													

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
	7	①	老朽空き家等 除却促進事業	空き家活用 推進課	建築 都市 局 空き家 活用 推進 課	倒壊や部材の落下のおそれがあるなど老朽化した空き家等の除却を促進するため、建築物の除却に要する費用の一部を補助することにより、市民の安全で安心な居住環境の形成を図る。	老朽空き家等除却促進事業の実施件数  ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	202戸 (H26年度)	目標 290 戸	実績 358 戸	300 戸	329 戸	300戸 (毎年度)	94,698	100,000	85,529	27,200	順調	当事業に対する市民からの関心が高く、除却戸数が目標を上回ることが出来たため、「順調」と判断。	
	8	①	マンション管理適正化推進事業	住まい支援室	建築 都市 局 住宅 計画課	北九州市マンション管理適正化推進計画に基づき、管理不全マンションへの訪問調査やマンション管理お試し診断、要支援マンションへの伴走支援等の取組を行い、マンション管理適正化の推進を図る。	マンション管理組合の管理運営状況の把握率	47% (R2年度)	目標 /	実績 /	60 %	47 %	70% (R7年度)	—	2,300	2,482	22,875	順調	令和2年度の実態調査にて管理状況を把握できなかった管理組合に対して個別に訪問調査を行う等、状況把握の取組を進めているため「順調」と判断。	
Ⅲ-1-(1)-② 定住促進や地域活性化のための環境づくり	9	①	住むなら北九州 定住・移住推進の取組み	住まい支援室	建築 都市 局 住宅 計画課	本市への定住・移住を推進するため、市外から移住する世帯等に対し、一定の要件を満たす街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助する。	賃貸住宅補助世帯数  ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	114世帯 (R1年度)	目標 120 世帯	実績 117 世帯	140 世帯	130 世帯	140世帯 (毎年度)	65,919	75,000	71,565	22,875	順調	賃貸住宅補助世帯数の実績は目標を下回ったものの、持家取得の実績は目標を上回り、賃貸と持家取得を併せた達成率は98%（256世帯/260世帯）と、全体として概ね目標を達成しているため、「順調」と判断。	【評価理由】 定住・移住に一定の成果が出ているが、「20歳代～30歳代の社会動態の増加数」が目標を下回り、期待した実績を上げられなかった。 以上のことから「やや遅れ」と判断。  【課題】 本市への定住・移住をより一層推進するため、効果的な制度設計を行っていくとともに、関係部局と連携しながら、本市が進めている事業や本市の住みやすさの情報発信を強化し、若い世代から選ばれるまちづくりを目指し、定住・移住につなげていく。
					住宅取得補助世帯数  ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	118世帯 (R1年度)	目標 120 世帯	実績 132 世帯	120 世帯	126 世帯	120世帯 (毎年度)	110.0 %	105.0 %							

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
	10	③ ⑧ ⑪ ⑰	定住・移住促進事業	住まい支援室	企画調整局企画課	北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略に人口減少対策の重要な柱の1つとして位置づける「定住・移住の促進」を図るため、首都圏におけるPRや「北九州市版生涯活躍のまち」の推進等に向けて取り組むもの。	20歳代～30歳代の社会動態の増加数	0人 (R1年)	目標 150人	実績 0人	達成率 0.0%	200人	450人 (R3～R5年)	38,256	54,090	48,148	30,750	遅れ	新型コロナウイルス感染症の5類移行後、東京圏等への人流が活発化するなか、令和5年度の20歳代～30歳代の社会動態の増加数は目標値を下回ったため、「遅れ」と判断。		
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	11	⑪	都市再生整備計画（公園）	緑政課	建設局緑政課	東田地区では、2018年度から5年間で「東田ミュージアムパーク創造事業」を実施し、地域における文化観光を推進している。また、2022年4月、新たな集客施設となるスペースLABOやシアトリット北九州がオープンした。これを機に官民が連携し公共空間の魅力向上を図るとともに、居心地よく歩きたくなる環境を整備し、観光交流拠点の中核に相応しい魅力ある都市環境の形成を推進する。	公園利用者の利便性向上及び魅力的な緑地空間の創出	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—	—	3,600	0	6,400	5,400	順調	東田大通り公園の整備に向け、令和5年度は、地元関係者等の意見を反映した基本計画を基に実施設計を行った。魅力ある生活空間づくりに向けて着実に進行していることから、「順調」と判断。	【評価理由】 東田大通り公園の整備に向け、令和5年度は、地元関係者等の意見を反映した基本計画を基に実施設計を行った。 【課題】 今後は、官民が連携し、ソフト施策を活性化させることで、地区の魅力をさらに高める必要がある。	

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
Ⅲ-1- (2)-② 風格の ある都 市景観 づくり	12	①	魅力ある街並み形成	都市再生企画課	建築都市局都市景観課	本事業は、個性的で魅力的な都市景観の形成を目指し、景観アドバイザー制度の活用による公共施設や大型民間施設等の魅力向上を図り、市民が誇りと愛着を持てる街並みづくりを推進する。	個性的で魅力的な都市景観の向上（景観が良くなったと思う人の割合）	70% (H26年度)	目標	70 %	70 %	70% (毎年度)	1,991	3,341	2,494	5,150	順調	景観アドバイザー制度が活用されており、また、市民アンケートでは、北九州市の景観が「良くなった」との回答が7割を超え目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 景観アドバイザー制度や夜間景観ガイドラインなどに基づく取組により、市民アンケートの景観に関する項目では「良くなった」との回答が目標を達成しているため、「順調」と判断。
	実績	72.2 %	71.1 %	達成率	103.1 %	101.6 %														
目標	50 %	50 %	50% (毎年度)	3,600	3,600	3,600	2,900	大変順調	夜間景観ガイドラインに基づき、民間事業者へのライトアップ促進の啓発活動等を実施しており、また、市民アンケートでは、小倉中心部の夜間景観が「良くなった」との回答が6割を超え、目標を大きく上回っているため「大変順調」と判断。											
実績	63.3 %	64.4 %								達成率	126.6 %	128.8 %								
Ⅳ-1- (3)-③ 人材供給、住環境整備などの立地支援	14	①	住むなら北九州 定住・移住推進の取組み	住まい支援室	建築都市局住宅計画課	本市への定住・移住を推進するため、市外から移住する世帯等に対し、一定の要件を満たす街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助する。	賃貸住宅補助世帯数	114世帯 (R1年度)	目標	120 世帯	140 世帯	140世帯 (毎年度)	65,919	75,000	71,565	22,875	順調	賃貸住宅補助世帯数の実績は目標を下回ったものの、持家取得の実績は目標を上回り、賃貸と持家取得を併せた達成率は98%（256世帯/260世帯）と、全体として概ね目標を達成しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 定住・移住に一定の成果が出ているため、「順調」と判断。  【課題】 本市への定住・移住をより一層推進するため、効果的な制度設計を行っていくとともに、関係部局と連携し、制度のPRを総合的に推進していく必要がある。
							※中期目標改訂（R5年度目標設定時）		実績	117 世帯	130 世帯									
							達成率		97.5 %	92.9 %										
							住宅取得補助世帯数	118世帯 (R1年度)	目標	120 世帯	120 世帯	120世帯 (毎年度)	実績	132 世帯	126 世帯	達成率	110.0 %	105.0 %		

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
IV-2-(2)-① 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進	15	⑧ ⑩	北九州市空き家リノベーション促進事業	空き家活用推進課	建築都市局空き家活用推進課	自ら居住し、既存住宅を取得する方を対象に、エコに資するリノベーション費用の一部を補助することにより、空き家の流通促進とゼロカーボンシティの実現に向けた住宅の脱炭素化を目指す。	エコ化対応にかかるリノベーションの実施件数	—	目標 100 件	実績 96 件	達成率 96.0 %	100 件	100 件	100件 (毎年度)	35,710	38,000	17,294	15,400	やや遅れ	令和5年度より、補助対象を、子育て・高齢化等対応工事等の複雑な補助メニューの解消と、住宅の脱炭素化を推進する観点から、エコ工事のみに見直したが、エコ化対応にかかるリノベーションの実施件数が目標を下回ったため、「やや遅れ」と判断。	やや遅れ	【評価理由】 令和5年度から補助対象をエコ工事のみに見直したが、エコ化対応にかかるリノベーションの実施件数が目標を下回ったため、「やや遅れ」と判断。  【課題】 官民連携による住宅以外への空き家活用など、新たな活用策の強化が必要。
V-1-(1)-① 生活支援施設の立地誘導や「街なか」居住の促進	16	⑩	住宅市街地総合整備事業	事業推進課	建築都市局事業推進課	住宅市街地整備計画を策定し、この計画に位置づけられた事業を行う事業者に対し、市街地住宅等の調査設計計画費や共同施設整備費等の一部を補助し、事業の進捗を図る。	住宅市街地総合整備事業における住宅供給支援戸数(累積)	1,760戸 (H26年度)	目標 単年度目標 設定なし	実績 1,898 戸	達成率 —	2,271戸 (R5年度)	2,271 戸	2,271戸 (R5年度)	77,233	63,906	105,359	6,900	順調	計画どおり令和5年度に事業完了できたことから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 街なかへの定住・移住の促進に向けて、一定の成果が出ているなど、各事業を着実に推進できているため「順調」と判断。  【課題】 本市への定住・移住をより一層推進するため、効果的な制度設計を行っていくとともに、関係部局と連携し、制度のPRを総合的に推進していく必要がある。
	17	⑬	災害に強くコンパクトなまちづくり推進事業	都市計画課	建築都市局都市計画課	平成30年7月豪雨を受け、市街化区域の斜面地住宅地や、住宅地などとなりうる市街化調整区域において、適切な土地利用の誘導ができるよう、区域区分の見直しを進める。	区域区分の見直しの基準を策定する	—	目標 市街化区域から市街化調整区域への編入手続き	実績 全区で地権者説明会等を実施 全区の見直し候補地修正案（第2版）を公表	達成率 90.0 %	区域区分の見直し (R5年度)	区域区分の見直し	区域区分の見直し (R5年度)	28,663	4,000	5,365	18,650	順調	見直し候補地修正案（第2版）公表後、頂いた意見書を踏まえ、都市計画原案を作成し、都市計画法に基づく手続きに着手したことから、「順調」と判断。		

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
18	①		住むなら北九州 定住・移住 推進の取組み	住宅 計画 課	建築 都市 局住 宅計 画課	本市への定住・ 移住を推進する ため、市外から移 住する世帯等に 対し、一定の要件 を満たす街なか の住宅を取得又 は賃借する費用 の一部を補助す る。	賃貸住宅補助世 帯数  ※中期目標改訂 （R5年度目標設 定時）	114世帯 （R1年 度）	目標	120	世帯	140	世帯	140世帯 （毎年 度）	65,919	75,000	71,565	22,875	順調	賃貸住宅補助世帯数の実績は目標を下回ったものの、持家取得の実績は目標を上回り、賃貸と持家取得を併せた達成率は98%（256世帯/260世帯）と、全体として概ね目標を達成しているため、「順調」と判断。	
									実績	117	世帯	130	世帯								
19	① ⑬		立地適正化計 画見直し業務	都市 計画 課	建築 都市 局都 市計 画課	都市再生特別措 置法に基づき、北 九州市立地適正化 計画について概ね5 年毎に分析・評価 を行い、施策の見 直しや防災指針を 検討する。	立地適正化計画 の見直しを行う	—	目標	立地適正化 計画の見直し	立地適正化 計画の見直し	計画の 見直し （R5年 度）	7,975	0	0	9,400	順調	北九州市立地適正化計画について、令和4年度に実施した誘導施策の見直しや防災指針の検討を基に、令和5年5月に改訂素案を作成し、7月から8月にかけて公聴会の開催や市民意見募集を実施した。市民意見を反映した計画を都市計画審議会に諮問し、意見聴取を行い、令和5年度に見直しを完了（令和6年3月改定）したため、「順調」と判断。			
									実績	—	令和6年3月 改定									達成率	—

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)					
V-1-(1)-② まちづくりと 連携した商業 機能の 活性化	20	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑬	環境首都総合 交通戦略の推 進	都市 交通 政策 課	建築 都市 局都 市交 通政 策課	環境首都総合交通戦略は、本市での望ましい交通体系を構築するため、既存の公共交通機関を有効活用し、その維持や充実・強化を図る。過度なマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通や徒歩・自転車への利用転換を図り、市民の多様な移動手段が確保された交通体系を構築することを目指す。	市内の公共交通 人口カバー率	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	86% (R8年 度)	131,099	208,893	192,234	16,150	大変 順調	令和5年度は、各種イベントへの出展等を行い、公共交通利用促進のPR活動を実施した。さらに、公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利用促進策を実施したため、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利用促進策を実施した結果、公共交通機関の利用者が前年同時期の2倍となり、マイカーから公共交通への転換が図られた。さらに、商業施設の来館者数も増えるなど経済波及効果が見られたため、本施策「まちづくりと連携した商業機能の活性化」に対する評価としては、「大変順調」と判断。  【課題】 まちの魅力や回遊性を高めるため、公共交通の利用促進に向けた更なる啓発活動が必要である。
								実績	—	—									
								達成率	—	—									
							人口10万人あたりの公共交通利用者数	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	3.8万人 /10万人 (R8年 度)	131,099	208,893	192,234	16,150				
実績	—	—																	
達成率	—	—																	
公共交通に対する満足度	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	70% (R8年 度)	131,099	208,893	192,234	16,150	大変 順調	令和5年度は、各種イベントへの出展等を行い、公共交通利用促進のPR活動を実施した。さらに、公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利用促進策を実施したため、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利用促進策を実施した結果、公共交通機関の利用者が前年同時期の2倍となり、マイカーから公共交通への転換が図られた。さらに、商業施設の来館者数も増えるなど経済波及効果が見られたため、本施策「まちづくりと連携した商業機能の活性化」に対する評価としては、「大変順調」と判断。  【課題】 まちの魅力や回遊性を高めるため、公共交通の利用促進に向けた更なる啓発活動が必要である。							
	実績	—	—																
	達成率	—	—																
運輸部門CO <sub>2</sub> 排出削減率	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	104万+ CO <sub>2</sub> (R12年 度)	131,099	208,893	192,234	16,150	大変 順調	令和5年度は、各種イベントへの出展等を行い、公共交通利用促進のPR活動を実施した。さらに、公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利用促進策を実施したため、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利用促進策を実施した結果、公共交通機関の利用者が前年同時期の2倍となり、マイカーから公共交通への転換が図られた。さらに、商業施設の来館者数も増えるなど経済波及効果が見られたため、本施策「まちづくりと連携した商業機能の活性化」に対する評価としては、「大変順調」と判断。  【課題】 まちの魅力や回遊性を高めるため、公共交通の利用促進に向けた更なる啓発活動が必要である。							
	実績	—	—																
	達成率	—	—																
V-1-(2)-① 都心の にぎわ いづく り	21	⑧ ⑪ ⑬	コクラ・クロ サキリビテー ション	事業 推進 課	建築 都市 局事 業推 進課	小倉地区と黒崎地区における民間開発の誘導と企業誘致の促進を重点的に図るため、補助事業の新設・拡充や各種規制（容積率、駐車場設置要件等）の緩和を行う。	民間開発の誘導	目標	民間開発 の誘導	民間開発 の誘導	民間開 発の誘 導	72,400	470,000	380,600	14,800	順調	民間開発のコクラ・クロサキリビテーションのリーディングプロジェクトとして、魚町三丁目5番地区において次世代仕様のオフィスビルの整備を推進できたことから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 小倉・黒崎地区における民間開発の誘導の起爆剤となりうるリーディングプロジェクトの推進により、京町三丁目14番地区における更なる民間開発を誘導することができた。また、旧小倉合同庁舎の解体設計を予定通り実施できた。以上のことから、「順調」と判断。
								実績	民間開発 の誘導	民間開発 の誘導									
								達成率	—	—									

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）					
	22	①	旧小倉合同庁舎等跡地活用事業	都市再生企画課	建築都市局都市再生企画課	小倉中心部に位置する当該地において、にぎわいを創出するためのイベント広場を整備する。	イベント広場の利用回数	—	目標 —	既存建築物の解体設計	20回/年 (R8年度)	—	8,000	6,144	13,075	順調	旧小倉合同庁舎の解体設計を予定通り実施できたので、「順調」と判断。		【課題】 今後も小倉・黒崎地区での企業誘致の促進を図るため、引き続き民間開発の誘導を図る必要がある。 イベント広場整備に向けて、利用者ニーズを踏まえ整備内容を検討する必要がある。
V-1-(3)-② 産業拠点の整備	23	⑨	長野津田土地区画整理事業	事業推進課	建築都市局事業推進課	小倉東ICに近接している長野津田地区において、土地区画整理による物流拠点用地の開発を行う長野津田土地区画整理組合に対して事業費の一部を補助し、事業の推進を図る。	物流拠点用地として整備された宅地面積	—	目標 9.1 ha	10.0 ha	18.4ha (R6年度)	372,510	126,700	81,186	15,375	やや遅れ	着手可能な基盤整備工事は完了しているが、一部家屋補償の遅れにより、物流拠点用地の整備が進んでいないため、「やや遅れ」と判断。	やや遅れ	【評価理由】 物流拠点用地の整備が進んでいないため、「やや遅れ」と判断。 【課題】 事業が円滑に進むよう、引き続き組合を支援していく必要がある。
V-1-(3)-④ 広域観光拠点の整備	24	①	東田地区魅力向上事業	都市再生企画課	建築都市局都市再生企画課	観光交流拠点として位置付けている東田地区の魅力を高め、更なる来街者の増加を図るため、スペースワールド駅を中心に、居心地よく歩きたくなる環境を整備する。	歩行者通行量	11,356 人/日 (R2年度)	目標 単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	13,000 人/日 (R7年度)	38,856	4,800	1,000	13,650	やや遅れ	令和5年度実施予定の事業を関係者等と協議をした結果、令和6年度に繰越したため事業の進捗率はあがっていない。一方で、東田大通り公園周辺において官民連携で社会実験を行い、公共空間の活用に向けた検証を行うなど、居心地よく歩きたくなる環境づくりを推進しており「やや遅れ」と判断。	やや遅れ	【評価理由】 スペースワールド駅を中心に環境整備が進んでいるが、進捗率があがっていないため、「やや遅れ」と判断。 【課題】 居心地よく歩きたくなる環境を創出するため、官民連携で継続した取組が自走するまで支援が必要である。

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）					
V-2- (3)-① 公共交通の利 便性の向 上	25	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑬	環境首都総合 交通戦略の推 進	都市 交通 政策 課	建築 都市 局都 市交 通政 策課	環境首都総合交 通戦略は、本市で の望ましい交通体 系を構築するた め、既存の公共交 通機関を有効活用 し、その維持や充 実・強化を図る。 過度なマイカー 利用から地球環境 にやさしい公共交 通や徒歩・自転車 への利用転換を図 り、市民の多様な 移動手段が確保さ れた交通体系を構 築することを目指 す。	市内の公共交通 人口カバー率	基準値 86% (R3年 度)	目標 単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	86% (R8年 度)	131,099	208,893	192,234	16,150	大変 順調		大変 順調	
								実績 —	—										
								達成率 —	—										
							人口10万人あた りの公共交通利 用者数	基準値 3.8万人 /10万人 (R1年 度)	目標 単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	3.8万人 /10万人 (R8年 度)								
								実績 —	—										
								達成率 —	—										
							公共交通に対す る満足度	基準値 66.1% (R2年 度)	目標 単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	70% (R8年 度)								
								実績 —	—										
								達成率 —	—										
							運輸部門CO <sub>2</sub> 排 出削減率	基準値 172万+ -CO <sub>2</sub> (H25年 度)	目標 単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	104万+ -CO <sub>2</sub> (R12年 度)								
								実績 —	—										
								達成率 —	40%削減										

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）					
V-2-(3)-② おでかけしやすい移動手段の確保	26	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑬	地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」	都市交通政策課	建築都市局都市交通政策課	おでかけ交通事業は、公共交通空白地域の中で一定の需要がある地域において、地域住民の交通手段を確保するため、採算性の確保を前提として、地域住民、交通事業者、市の三者がそれぞれの役割分担のもとで連携して、ジャンボタクシー等を運行する。  既運行地区におけるおでかけ交通の維持  ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	8ヶ所 (H25年度)	目標	8ヶ所	10ヶ所	10ヶ所 (R5年度)	131,099	208,893	192,234	16,150	順調	三者（地域住民、交通事業者、市）で逐次調整・協議を行い、安定・安全運行の確保に努め、運行の維持ができたため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業者に対して運行に要する費用の一部助成などの側面支援を実施し、安定・安全運行を図ることができたため、「順調」と判断。  【課題】 おでかけ交通を存続させていくため、更なる三者の連携による利用者増を図ることが不可欠である。
V-3-(2)-② 公共施設の転活用などの検討	27	⑧ ⑨ ⑩ ⑫	門司港地域複合公共施設整備事業	事業推進課	建築都市局事業推進課	「北九州市公共施設マネジメント実行計画」に基づき、門司港地域において、公共施設の集約等の取り組みを進める。  複合公共施設の整備	モデルプロジェクト再配置計画策定（H27年度）	目標	複合公共施設の整備の推進	複合公共施設の整備の推進	複合公共施設の整備の推進（R5年度整備予定）	882,532	1,122,347	813,536	46,500	やや遅れ	令和5年度は、複合公共施設の実施設設計及び埋蔵文化財発掘調査を実施した。当初、調査後に建設工事に着手する予定であったが、遺構の取扱いに関して不測の日数を要したことから、工事着手時期を令和5年度から令和6年度に見直した。そのため、「やや遅れ」と判断。	やや遅れ	【評価理由】 門司港複合公共施設の建設予定地において、旧門司港駅関連施設の遺構が発掘された。その対応に不測の日数を要し、竣工時期を令和8年度から令和9年度に見直しを図ったため、「やや遅れ」と判断。  【課題】 計画の推進にあたり、引き続き関係各所との調整を図りながら取組を進める必要がある。

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
VI-2- (1)-① 環境に 配慮した 良質な住 宅・建築 ストックの 形成	28	⑩	民間建築物等 指導業務	建築 指導課	建築 都市 局建築 指導課	建築物は、エネルギーの消費や廃棄物の発生など、環境に対し様々な影響を与えている。また、地球温暖化対策をはじめとする環境問題に対し、建築分野での取組は大きな役割を担っている。CASBEE北九州（北九州市建築物総合環境性能評価制度）は、延床面積2,000㎡以上の建築物の新築等を行う建築主が建築物の環境性能を自己評価し、その結果を市に届け出る制度であり、この制度の普及により、環境配慮型建築物の整備促進を図る。	北九州市建築物総合環境性能評価制度(CASBEE北九州)の届出件数	15件 (H26年度)	目標	15	件	15	件	15件 (毎年度)	198	260	132	990	大変 順調	北九州市建築物総合環境性能評価制度(CASBEE北九州)の届出件数の実績が目標の120%以上であったため「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 「民間建築物等指導業務」については、達成率は120%と目標値を超える届出件数であった。 「北九州市空き家リノベーション促進事業」については令和5年度から補助対象をエコ工事のみに見直したが、エコ化対応にかかるリノベーションの実施件数が目標を下回った。 「住宅の脱炭素化推進事業」については、技術力向上研修受講者の満足度は90%で、目標を上回った。 以上のことから、「順調」と判断。  【課題】 「民間建築物等指導業務」については、任意の届出制度で、制度開始から10年を経過しており、新たな普及啓発の取組が必要。 「北九州市空き家リノベーション促進事業」については、官民連携による住宅以外への空き家活用など、新たな活用策の強化が必要。
	29	⑧ ⑩	北九州市空き家リノベーション促進事業	空き家 活用 推進課	建築 都市 局空き家 活用 推進課	自ら居住し、既存住宅を取得する方を対象に、エコに資するリノベーション費用の一部を補助することにより、空き家の流通促進とゼロカーボンシティの実現に向けた住宅の脱炭素化を目指す。	エコ化対応にかかるリノベーションの実施件数	—	目標	100	件	100	件	100件 (毎年度)	35,710	38,000	17,294	15,400	やや 遅れ	令和5年度より、補助対象を、子育て・高齢化等対応工事等の複雑な補助メニューの解消と、住宅の脱炭素化を推進する観点から、エコ工事のみに見直したが、エコ化対応にかかるリノベーションの実施件数が目標を下回ったため、「やや遅れ」と判断。		
	30	⑩ ⑬	住宅の脱炭素化推進事業	住宅 計画課	建築 都市 局住宅 計画課	脱炭素住宅の普及を促進させるため、住宅事業者向けの技術力向上セミナーの開催や、市民周知を図る。	技術力向上セミナー受講者の満足度	—	目標	70	%	70	%	—	668	1,700	1,255	5,900	大変 順調	技術力向上セミナー受講者の満足度は90%で、目標を大きく上回っているため、「大変順調」と判断。		

令和5年度 行政評価の取組結果（都市戦略局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
VI-2-(1)-② 環境に配慮した都市基盤・施設の整備・維持管理	31	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑬	環境首都総合交通戦略の推進	都市 交通 政策 課	建築 都市 局都 市交 通政 策課	環境首都総合交通戦略は、本市での望ましい交通体系を構築するため、既存の公共交通機関を有効活用し、その維持や充実・強化を図る。過度なマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通や徒歩・自転車への利用転換を図り、市民の多様な移動手段が確保された交通体系を構築することを目指す。	市内の公共交通人口カバー率	基準値	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	86% (R8年度)	131,099	208,893	192,234	16,150	大変 順調	令和5年度は、各種イベントへの出展等を行い、公共交通利用促進のPR活動を実施した。さらに、公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利用促進策を実施したため、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 令和5年度は、各種イベントへの出展等を行い、公共交通利用促進のPR活動を実施することができた。 また、公共交通市内1日無料デーを行い、公共交通の利便促進にもつながったと考えられるため、「大変順調」と判断。  【課題】 まちの魅力や回遊性を高めるため、公共交通の利用促進に向けた更なる啓発活動が必要である。
								実績	—	—	3.8万人/10万人 (R8年度)									
								達成率	—	—										
							公共交通に対する満足度	基準値	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	70% (R8年度)								
実績	—	—																		
達成率	—	—																		
運輸部門CO <sub>2</sub> 排出削減率	基準値	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	104万+ CO <sub>2</sub> (R12年度)															
	実績	—	—																	
	達成率	—	—	40%削減																
VII-3-(2)-④ 広域連携に資する社会基盤の整備に向けた取組の推進	32	⑨ ⑩	【施策評価のみ】 下関北九州道路にかかる要望・提案活動の実施	都市 交通 政策 課	建築 都市 局都 市交 通政 策課	【施策の内容】 地域連携に資する社会基盤の整備に向けた取組の一環として、下関北九州道路を推進するため、国や関係機関に対して要望・提案活動を実施する。	【施策の指標】 早期実現のための要望活動を共同で実施	目標	1回	1回	1回 (毎年度)	—	—	—	—	—	大変 順調	【評価理由】 国や関係機関に対して、予定を上回る要望・提案活動を実施しており、その結果、国が直轄調査を実施したため、「大変順調」と判断。  【課題】 下関北九州道路の早期実現に向けて、必要な調査検討を進め、要望に反映させる。		
								実績	2回	2回										
								達成率	200.0%	200.0%										